

陽性者報告ない  
エリアでRNA

五輪選手村下水調査

北海道大学と東京大  
学、大阪大学、塩野義  
製薬の研究チームは5  
日までに、昨年夏に東  
京五輪・パラリンピッ

ク選手村で下水を採取  
し、新型コロナウイルス  
スのリボ核酸（RNA  
△）が含まれていない  
か調査した結果を論文  
にまとめて発表しまし  
た。毎日の臨床検査で  
陽性者の報告がないエ  
リアの下水からもRNA

Aを検出する例が多く  
あり、無症状感染者や  
感染から時間が経過し  
た人が排出したRNA  
も検出したと考えられ  
ます。

調査結果は下水採取  
の翌日までに大会組織  
委員会に報告されまし  
た。研究チームは、こ  
の「下水疫学調査」は  
空港で入国者に行われ  
る唾液抗原検査を補っ  
たり、多くの人が集ま  
るイベントで検査態勢  
をどの程度強化すれば  
よいのか判断したりす  
るのに使えろと指摘。  
変異株の網羅的な把握  
にも活用できると説明  
しています。論文は米  
医学誌「ジャーナル・

オブ・トラベル・メデ  
イシン」電子版に掲載  
されました。

調査は昨年7月14日  
から9月8日まで毎  
日、選手村の7エリア

を対象にマンホールか  
ら下水を採取。分析で  
きた690検体の33・  
8％からウイルスの  
RNAを検出しまし  
た。